

第 16 回 諜報研究会のご案内

日時: 2016年10月15日(土) 午後2時～6時

会場: 早稲田大学 3 号館 教室未定

資料代: 500 円 (NPO 正会員・賛助会員、ならびに雑誌『Intelligence』年間購読会員の方は無料です)

特集 「インテリジェンスの戦前、戦中、戦後」

今回はインテリジェンスの昭和史を 3 人の方に新資料で語っていただきます。

木村報告は早稲田大学戸山キャンパスの裏山で 1936 年に誕生した秘密機関「ヤマ」が陸軍中野学校の卒業生を入れて東條首相の秘密機関として暗躍する経過を分析します。

久保報告は日本の運命を決めた第 2 次大戦での天皇の開戦経緯への関与を憲法学的に解明する画期的な報告となります。

進藤報告は冷戦期の 1954 年の日本でおきたソ連大使館員ラストボロフのアメリカ亡命の謎に米公文書解読で挑戦します。

木村 洋 (数学者、軍事科学史)

「ヤマ機関の研究」

久保健助(東京経済大学 現代法学部)

「対米開戦時における《宣戦》と《宣戦布告》」

進藤翔太郎(京都大学大学院人間環境学研究所 博士課程)

「アメリカ国立公文書館史料から見たラストボロフ事件

—史料公開状況を中心に—

研究会終了後、会場にて懇親会を開きます。会費(1000 円)はその場で集めさせていただきます。是非、ご参加下さい。

NPO インテリジェンス研究所の活動はホームページ(<http://www.npointelligence.com/>)から発信しております。次回、研究会のご案内等、mail での通知をご希望の方は、info@npointelligence.com までご連絡下さい。